

校長室だより

学校教育目標「学びを生かす子供」

八代市立龍峯小学校

校長 村嶋 博史



R3,12,14

NO,31

「ありがとうの花」が咲き誇っています

校内人権月間の取組の一つである「ありがとうの花」が咲き誇っています。これは、友達に親切にしてもらったり、嬉しかったりしたことなどを、花の形のカードにその内容を記入して、廊下に設置されたボードに貼っていくという取組です。

子供たちは、満開近くなったボードを休み時間などに熱心に見ています。また、運営・人権委員の子供たちが、給食時間に校内放送でその内容を読み上げています。自分の行為が書かれているカードを見つけたり、その内容が校内放送で読み上げられたりすると、とても嬉しそうにしています。

この取組を通して、子供たちに、優しさや思いやり、いじめ（差別）をしない・させない・許さない心や態度が浸透したり、人権感覚が磨かれたりすることを期待しています。



人権集会を行いました

12月9日（木）1校時、全校児童による「人権集会」を行いました。11月を人権月間と位置づけ、上述の「ありがとうの花」の取組や授業参観での人権教育公開授業などに取り組んできました。

そして、その人権に関する学習のまとめとして、人権集会で、各学級で学んだ人権教育に関する内容の紹介や感想等の発表、感想交流を行いました。その中で、子供たちは、「相手の立場に立って物事を考えること（思いやり）の大切さ」や「友達の良いところを素直に認め・褒める美しい心を持つことの大切さ」などを確認していました。



この人権に関する学習を通して得た正しい知識や考え、行動指標を実生活に生かしてはじめて良い学びと言えます。今後、子供たちが、人の悪いところではなく、良いところを見つけ、認め、褒め、励ますようになり、全ての仲間と平等に思いやりに満ちた行動をとることを期待しています。学校では、今後も継続的に、全教育活動を通して、人権教育に取り組んでいきます。ご家庭でも折に触れ、人権について問いかけたり、よりよい言動や行動へと導いたりしてください。

「小さな約束が守れない人は、大きな約束が守れない」

この言葉は、職員室の私の机上のカレンダーに添えられていた言葉です。これを見たとき、真っ先に思い浮かんだのは、「だから、龍峯小学校の子供たちは、落ち着いているんだあ」でした。

本校の子供の多くは、「気持ちの良い挨拶をします」「服装を整えています(黄色い帽子も)」「掃除を頑張っています」「忘れ物を減らす工夫をしています」「友達に思いやりのある言動をしています」「室内で静かに過ごしています(走らない大声を出さないなど)」「放課後は寄り道せずに帰宅しています」など、多くの約束を守っています。それも児童会や高学年を中心に自分たちで声をかけ合っています。

小さな約束を守り続けているこの子供たちは、相手から大きな信頼を得ています。そして、その信頼が、自己肯定感を高め、自分自身を成功へと導く大きな力(大きな約束を守れる力)となっていることと思います。これからはまずは小さな約束を守り続けることを大切にしてほしいと思います。